経営一転語 99　文章による指令（業務命令）は守られる

今回は、「口頭による指令は忘れられ、文章による指令（業務命令）は守られる」ということについて、述べてみましょう。

大切なことを口頭で伝えるというのは、もともとあやふやに伝わってしまうものであると思った方がよいでしょう。

だから、社長が口頭で重要な指令を出すということは、避けなければいけません。

社長自身が、口頭で指令を出しても、なかなか的確にそれが実施されないということは、嫌というほど実感していることでしょう。

そうであれば、それを改めればよいのです。改めないのは、「自分の指令が的確に行われなくても仕方がないと思っているということだ」と言われても仕方がありませんね。

「口頭指令というのは、社長の独り言にすぎない」と思った方がよいでしょう。

では、どうすればよいかですが、「指令メモ（業務命令）」を書くように社長にお勧めします。

メモを書くことは、簡単なものなら、数秒ですみますし、ちょっと複雑なものでも、数分ですむでしょう。

社長が自らの指令を従業員に的確に行わせるためには、「指令は絶対に文章で行う」ということを徹底した方がよいでしょう。